基本目標 2

尾道の魅力を活かして 人々をひきつけるまちの仕組みを構築する

数値目標

指標名	単位	基準値（H30）	目標値（R6）
転出超過数	人	521（H27～H31 平均）	減少
転出超過数（20～39 歳）	人	431（H26～H30 平均）	減少

基本的方向

1 尾道市在住者が継続して住み続けている

尾道の魅力を感じることのできる多様な就業機会や住民ニーズに対応した住環境の確保とともに、地域への愛着・誇りをもって一人ひとりの個性と能力を活かせる教育の充実により、生涯住み続けられる尾道のライフスタイルの確立を目指します。

2 尾道の魅力にひかれ、多くの人が移住している

歴史や文化、市街地・多島美の景観など尾道の魅力を活かした戦略的プロモーションや移住につながる支援の充実、空き家・空き店舗の流動化促進や教育力の向上により、誰もが尾道で暮らしたいと感じる取組を目指します。

3 尾道につながる人との関係が緊密になっている

通勤・通学、仕事での関わり、観光交流、尾道の魅力にひかれる人、応援者など、様々な場所、様々な機会で尾道と繋がっている人をさらに増やし、関係人口の創出・拡大を目指します。

施策体系図

基本目標	基本的方向	施策
基本目標 2 尾道の魅力を活かして人々をひきつけるまちの仕組みを構築する	1 尾道市在住者が継続して住み続けている	1 就業機会の創出 2 住民ニーズに対応した住環境の整備 3 地域への愛着・誇りを持てる教育の充実
	2 尾道の魅力にひかれ、多くの人が移住している	1 戦略的なシティプロモーションの実施 2 移住相談体制の充実 3 店舗・事務所・住宅の流動化促進 4 小中高大を通じた教育力の充実
	3 尾道につながる人との関係が緊密になっている	1 尾道ファンの組織化 2 交流イベント等の充実 3 関係人口の活用

基本的方向と施策

1 尾道市在住者が継続して住み続けている

基本的方向 KPI

指標名	単位	基準値（H30）	目標値（R6）
転出者数	人	3,743（H27～H31 平均）	減少

施策１ 就業機会の創出

本市に住んでいる人が、将来にわたって本市に住み続けるためには、一人ひとりの個性と能力を活かせる多様な就業機会の創出を図る必要があります。このため、企業が求める人材と雇用のマッチングを進めるため、若者の就業支援やキャリア教育、地域職業体験などを推進します。

施策 KPI

指標名	単位	基準値（H30）	目標値（R6）
男女年齢別就業者数 （20～39 歳）	人	男性 11,237（H27） 女性 8,178（H27）	男性 維持 女性 維持
男女別就業率	%	男性 62.5（H27） 女性 43.4（H27）	男性 維持 女性 44.2

具体的取組

○就業ニーズに対応した域内の雇用促進（ふる里就職促進事業【再掲】など）
○キャリア教育と地域職業体験の充実（企業の魅力発信事業【再掲】など）

施策２ 住民ニーズに対応した住環境の整備

暮らしに対する価値観は多様化しており、自分らしいライフスタイルの実現を望む人が多くなっています。このため、住宅開発に係る相談対応や老朽化が進んだ空き家の解体の支援等による土地の流通促進、ニーズに対応した定住促進のための住環境の確保支援や空き家をはじめとした既存住宅の改修などを促進します。

施策 KPI

指標名	単位	基準値（H30）	目標値（R6）
新設住宅着工戸数	戸	327（H29～H30 平均）	330
住宅の取引件数	棟	409（H29～H30 平均）	410

具体的取組

○定住促進のための住環境確保支援（住宅開発地整備に係る支援、特定空家等及び不良空家除却支援事業など）
○既存住宅改修の促進（子育て世帯等住宅取得支援事業など）

施策３　地域への愛着・誇りを持てる教育の充実

本市に継続して住み続けるためには、市民が地域の魅力を感じながら、地域への愛着や誇りを持つことが重要です。このため、市民が地域に関心を持ち、魅力に気づき、魅力となる資源を磨き上げることができる教育の充実を図ります。

施策 KPI

指標名	単位	基準値（H30）	目標値（R6）
市民満足度調査「尾道市に愛着がある」と感じる市民の割合	%	79.4（R1）	85.0

具体的取組

○ふるさと学習等を通じた尾道での就業環境を知る機会の提供（ふるさと学習推進事業など）
○尾道市のライフスタイルのイメージ向上（移住・定住促進事業など）
○尾道スローフードまちづくりの推進（尾道スローフードまちづくり事業など）

2 尾道の魅力にひかれ、多くの人が移住している

基本的方向 KPI

指標名	単位	基準値（H30）	目標値（R6）
転入者数	人	3,222（H27～H31 平均）	増加

施策 1 戦略的なシティプロモーションの実施

本市は、観光地としての知名度や文化･芸術などの地域資源のイメージは高いものがあります。このため、本市の知名度、ブランド力を活かし戦略的なシティプロモーションを進めます。とりわけ、移住ポータルサイト等を活用した様々な情報発信等により、ターゲットを絞った UIJ ターン受入を促進します。

施策 KPI

指標名	単位	基準値（H30）	目標値（R6）
移住相談件数	人	608	850

具体的取組

〇移住ポータルサイト等を活用した情報発信（移住・定住促進事業【再掲】など）
〇ターゲットを絞った UIJ ターン受入促進（移住・定住促進事業【再掲】など）

施策 2 移住相談体制の充実

人が移住を決める要素の一つとして、総合的・継続的な相談体制の有無が指摘されています。このため、二拠点居住も視野に入れたお試し居住やシェアオフィスを活用するとともに、関係主体と連携した大都市圏における移住相談の充実、地域における移住相談ネットワークの構築などを推進します。

施策 KPI

指標名	単位	基準値（H30）	目標値（R6）
移住相談ネットワークを利用した UIJ ターン数	人	―	100

具体的取組

〇関係主体と連携した大都市圏における移住相談の充実（移住・定住促進事業（大都市圏で開催する移住相談会への参画）【再掲】など）
〇地域における移住相談ネットワークの構築（移住相談事業）
〇新規就農者及び漁業就業者の育成支援（新規就農者育成交付金事業、新規漁業就業者育成漁船漁具等整備事業）【再掲】

施策３　店舗・事務所・住宅の流動化促進

本市では、島しょ部や山間部のみならず、移住者の受入に、空き家、空き店舗を活用することが必要です。このため、空き家や空き店舗を魅力的な資源と捉え、既存住宅の改修の促進や、関係団体と連携した空き家・空き店舗の流動化を促進します。

施策 KPI

指標名	単位	基準値（H30）	目標値（R6）
空き家・空き店舗活用件数	件	21	23

具体的取組

○既存住宅改修の促進（子育て世帯等住宅取得支援事業など）【再掲】
○関係団体と連携した空き家・空き店舗の流動化促進（創業支援補助金【再掲】、空家等活用促進モデル事業）【再掲】

施策４　小中高大を通じた教育力の充実

本市には、小中高校から尾道市立大学まで、教育機関が揃っています。子どもの教育環境は、子育て世代以降の住まいの選択にあたり、要因のひとつになる場合があると言われています。そのため、確かな学力を育む教育を推進するとともに、ICT を活用した教育などに取り組むことで、教育力の充実を図り、教育面においても選ばれるまちづくりを推進します。

施策 KPI

指標名	単位	基準値（H30）	目標値（R6）
市民満足度調査「子どもたちに確かな学力と豊かな人間性が身についている」と感じる市民の割合	％	45.9（R1）	50.0

具体的取組

○確かな学力を育む教育の提供（「尾道版『学びの変革』推進事業」など）
○ICT を活用した教育（ICT 活用推進事業など）
○グローカル人材の育成（国際交流推進事業、外国語教育を充実する事業など）

3 尾道につながる人との関係が緊密になっている

基本的方向 KPI

指標名	単位	基準値（H30）	目標値（R6）
入込観光客数	千人	4,923	5,774

施策 1 尾道ファンの組織化

本市には市外から多くの観光客が訪れています。このため、一度は訪れたことのある観光客、本市で暮らしたことのある住民、本市に関心がある大都市圏在住者などを「尾道ファン」として組織化し、ネットワークづくりや連携強化を図ります。

施策 KPI

指標名	単位	基準値（H30）	目標値（R6）
ファン組織加入者数	人	449	500

具体的取組

○尾道ゆかりの人、観光リピーター等とのネットワーク強化（尾道観光大志募集事業、尾道サポーターの会など）

施策 2 交流イベント等の充実

本市では、地域の特色を活かした祭り、イベントが数多く開催されています。このため、実際に人と人が触れ合うことによる、つながる関係づくりに向け、尾道の魅力を身近に体験できる交流イベントの実施、地域に根差した行事への参加を促進します。

施策 KPI

指標名	単位	基準値（H30）	目標値（R6）
関連イベント参加者数	人	―	10,000

具体的取組

○尾道の身近な魅力を体験する交流機会の拡充

施策 3　関係人口の活用

「関係人口」とは、地域や地域の人々と継続的に多様な形で関わる地域外の人材のことを指し、地域の活力の向上や、将来的な地域づくりの担い手となることが期待されています。このため、地域外の若者・専門家を巻き込んだ事業の推進や、ふるさと納税の拡充などを進めます。

施策 KPI

指標名	単位	基準値（H30）	目標値（R6）
地域外人材参加プロジェクト参加者数	人	116	増加
ふるさと納税寄付者数	人	4,909	8,500

具体的取組

〇地域外の若者・専門家を巻き込んだ事業の推進（若者チャレンジ講座など）

〇ふるさと納税の拡充（ふるさと納税推進事業）